

日時 令和6年10月9日（水）午後7時から午後8時30分
場所 松平交流館 大会議室
出席者 地域会議委員14名、事務局 3名

【内容】

1 会長あいさつ

2 報告

(1) 前回の議事録について

資料に基づいて、第4回の地域会議及び研修会の内容について、事務局が説明した。

(2) 第2次松平地域まちづくり構想の進捗状況について

資料に基づいて、第2次松平地域まちづくり構想の進捗状況について、事務局が説明した。

3 協議

(1) 令和7年度地域課題解決事業 事業計画書の最終確認について

資料に基づき、令和7年度地域課題解決事業 事業計画書の最終案について、9月の地域会議から変更のあった事業である松平地域防災事業・自然との共存事業・管理費を中心に事務局が説明した。

(2) We Love 松平通信の内容確認について

資料に基づき、We Love 松平通信について事務局が説明し、質疑応答及び協議を行った。校外学習の内容に関して委員より意見があった。修正して再度確認を行い、発行準備を進める。

(3) 提言に向けた協議について

「第2次松平地域まちづくり構想 前期実践計画15項目」の中で、9月の地域会議で意見が多かった以下の5項目について、どの項目を提言すべきかグループワークにて協議した。

- ・松平地域自主防災会連絡協議会、各自主防災会、消防署、消防団、民生委員との連携強化、消防署、消防団などの活動周知
- ・子どもと地域をつなぐ環境、多世代交流、居場所づくり
- ・狩猟活動の普及
- ・松平地域のイベント情報の発信
- ・住民が地域の歴史・文化・行事と関わる機会の促進

3つのグループに分かれて協議し、最後に全体で各グループの協議結果を発表した。

1班では仕組みの浸透を目指して防災、人口減少にもつながる子どもの問題、現在よりも情報を届ける発信方法を検討すべきとして情報発信についての3つが重要視された。

2班は防災について、市や松平地域自主防災会連絡協議会でやっている取組を各自治区まで伝えるべきだと協議した。

3班は実際の被害が多くて地域だけでは対応が追いつかない狩猟活動の普及と、交流の場づくりやそれを継続する仕組みの必要性を感じることから子どもの問題について選出した。

<その他意見>

・能登半島にボランティアに行き行って感じたことは、あれだけの災害になってしまうと、地元の方々は自分たちではほとんど何にもできないということであった。

- ・自主防災会連絡協議会では、各自治区に、自主防災会の訓練に関する情報提供をしている。また、防災訓練の支援もしている。次年度からは、防災対策課等が行う出前講座などの情報を、22自治区に届けることを目指して活動する予定。
- ・自治区の催しについては、開催は大変であることは事実。各自治区の状況や雰囲気に合わせて、なるべく負担に感じることを少ないやり方を探していくといいのではないか。
- ・狩猟活動に関しては、動物が穴をあけることなどにより、大雨等の災害時にも影響がある。また、獣害だけでなくスズメバチも多く、被害もある。支援が足りていない問題も地域には存在する。

4 連絡事項

- ・地域会議上半期分の費用弁償について

次回会議について

- ・日 時：令和6年11月13日（水） 午後7時から
- ・場 所：松平交流館 大会議室
- ・議 題：令和6年度地域課題解決事業中間報告 など